

新しい言葉をR&Lプリントでかき！

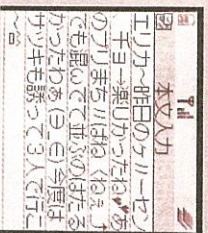
今は、あらゆる人が自分の表現ができる時代。自分で何かを「つくって」「発信」できる。ケータイで電話や「メッセンジャー」の表現の場がありますから、個人が新しい言葉をつくる担い手にもなりやすい。話し言葉はもちろんです。「キヤル文字」(写真参照)なんかも、そういう表現の一つでしょう。新しい言葉は、



●スタンフォード日本センター/国際「樹回」研究所長
ロツタベイト「少年オメガ」のチーフライターとしても有名。

新しい「コミコトシヨウ」、新しい「コミコトシヨウ」をもつていて、「ひらがな」だって、平安時代に一部の女性だけが勝手に「つくりだした文字」でもよね。当時の知識人にしてみれば、「漢字をがら捨てて何やってるんだー」と感じていたはず。それが今では日本独自の文字になっている。大人たちが心配しているのは、権を重んじてきた日本語文化が壊されるのではないかと感じていることであって、何も新しい言葉が悪いと言っているわけじゃない。だから、これまでの日本語文化も大切にしながら、新しい言葉もどんどんつくっていくべき。昔も楽でも映画でも、何だか「メッセンジャー」もあるけれど、自分から「メッセンジャー」する、何かをつくりだすことを勧めたいですね。

キミのつくった言葉が、何十年後、何百年後かに、みんなが使ってものになっていたら面白くないじゃないですか？



これが「キヤル文字」。「ク」→「ケ」
「ル」→「ロ」→「ル」→「ル」
→「ル」なぜか特許されたよ。



中村氏著 II

【日本のポップカク】(日本経済新聞社)マンガやアニメゲームなどの流行文化が経済や産業に与える影響を研究・分析

進研ゼミ 高校講座

高1 Ew College 入試対策

(国語)

2006. 10月号